

平成 20 年度

事業報告書

財団法人 横浜市シルバー人材センター

概 況

平成 20 年度の契約金額は、前年度比 3.7%とセンター発足以来、過去最大の減少となりました。特に、「発注先別」契約金額においては、昨年度に引き続き、指定管理者制度の実施等による影響が現れた外郭団体実績が、前年度比 10.1%の大幅な減少となりました。民間企業においても、金融危機に端を発した経済不況、雇用情勢の悪化等の影響により、発注者からの就業休止や就業形態の変更等が実施され、前年度比は 2.3%と当センターはじめての減少となりました。

また、横浜市の競争入札制度への移行等により、公共については、横浜市等への営業活動による配布業務の確保、受注の開拓を図りましたが、公共実績が前年度比 13.2%の減少となりました。

なお、個人家庭では、地域社会へのサービス支援として、福祉・家事援助サービス業務における会員への就業促進とともに、各事務所に配置したコーディネーターの積極的な活動等により、前年度比 0.6%と若干の減少となりました。

登録会員数は 12,068 人となり、新規登録会員は 1,708 人で年度当初に比べ 265 人の減少にとどまりました。

平成 20 年度の主な取り組みとしては、平成 19 年 3 月に策定した「基本計画 2016」及び同年 4 月に横浜市と締結した「特定協約」の 2 年目となり、平成 21 年度から実施する「年会費」制度に向け、昨年 12 月に「年会費」制度実施後の会員へのサービス向上検討会を立ち上げ、本部・事務所の職員によるプロジェクト会議を 6 回にわたり開催し、会員増強や未就業会員への支援等について、具体的な検討を行いました。

この検討結果に基づき今年度から、新たに会員登録を希望する高年齢者に対して、本部・事務所で開催する希望日・会場に応じた「会員登録説明会」を開催し、この説明を受けてから会員登録をしてもらうこととしたほか、本部・事務所に「就業相談コーナー」を新たに常設し、会員増強、就業促進等を図っております。

その他、請負・委任、無料職業紹介事業に加え、高年齢者の多様な働き方に対応した雇用・就業機会の確保と適正就業等を図るために、19 年 4 月に参入した一般労働者派遣事業を拡充するとともに、団塊世代を含めた高年齢者の様々なニーズに対応した働き方等の情報収集及び提供を行う「ワークサポート情報プラザよこはま」（通称：はまサポ）による就業機会の提供等を推進しました。

業務執行体制の改革としては、事務事業の効率的な執行を図ることを目的に、請求事務を本部に移管し一括集中処理を行う請求センターの業務を推進し、事務所の本来業務である受注活動や安全管理等の強化に取り組みました。

少子高齢化の更なる進展の中で、地域における高年齢者の労働力需給調整機能から社会参加促進機能までの一層幅広い機能を果たし、地域社会に貢献していくための役割の強化が必要となってきます。

このような背景を踏まえ、シルバー人材センターが高年齢者への就業支援を通じて地域社会や経済労働等の分野の担い手として期待されるとともに、その果たす役割もますます重要となります。その役割を十分認識し、今後も積極的な事業展開に取り組んでまいります。

1 事業実績

(1) 会員数

平成 21 年度「年会費」制度実施に伴う会員への周知説明等により、2,007 人が退会したため、年度末の登録会員数は 12,068 人となり、年度当初の 12,333 人から 265 人の減少となりました。

新規登録会員数は、景気低迷、雇用情勢の悪化等の影響により、1,708 人と前年度に比べ若干の増加となりました。登録会員に占める女性の割合は、女性会員の入会促進に努めましたが、19 年度と比べ 0.2 ポイント減少し 31%の結果となりました。

センターへの入会動機では、「収入を得るため」が 37.3%で前年度の 35.9%から 1.4 ポイント上昇し、昨年度同様に高齢者の生活維持思考の高揚が伺われます。「健康維持のため」が 24.1%、「経験を活かしたい」が 18.1%、「社会参加したい」が 14.1%となっています。

また、就業率は来年度からの「年会費」制度の導入等により退会者がでたため 63.3%と 60%台の維持はできましたが、前年度の 64.8%から 1.5 ポイント減少しました。

希望する職群の順序は、①一般作業 (26.0%)、②施設管理 (21.8%)、③事務整理 (15.6%)となっています。

◇過去 3 年間の推移

項目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
会員数 (人)	15,822	12,333	12,068
対前年度比 (%)	(110.0)	(77.9)	(97.9)
男女比(男/女)	69.3/30.7	68.8/31.2	69.0/31.0
契約金額 (千円)	4,722,986	4,652,982	4,482,627
対前年度比 (%)	(101.1)	(98.5)	(96.3)
就業率 (%)	52.5	64.8	63.3

◇過去 5 年間の新規登録会員数 (単位 : 人)

平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
2,376	2,162	2,142	1,672	1,708

(2) 契約金額と件数

20 年度は、昨年度に引き続き、指定管理者制度の実施等の影響により、「外郭団体」からの受注が大幅に減少し、「民間」においても、長引く景気低迷等により、センター発足以来、過去最大の減少となり、契約金額が 44 億 8,300 万円余、受注件数が 55,145 件と前年度対比実績の減少となりました。

19 年度との比較では、金額は 1 億 7,035 万円余 (対前年度比:-3.7%)、件数は 495 件 (-0.9%)の減少となりました。また、「公共」については、横浜市の競争入札制度への移行等の影響により、前年度対比大幅な減少となり、「個人」についても、引き続き地域社会へのサービス支援として、福祉・家事援助サービス業務における会員への就業促進により、前年度対比若干の契約金額の減少にとどまりました。

次に、受注件数については、「施設管理」「サービス」の職群は前年度若干の実績増加を示しましたが、契約金額は、「専門技術」前年度対比 31.8%の過去最大の減少であり、「施設管理」「一般作業」「サービス」でいずれも 2.2%程度昨年度を下回っています。この主な要因としては、「専門技術」「施設管理」「一般作業」は前述の指定管理者制度実施や景気低迷による就業休止等の影響があげられます。

(参考)

◇発注先別契約実績

発注先	平成19年度				平成20年度					
	契約金額 (千円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	契約金額 (千円)	構成比 (%)	対前年度 比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	対前年度 比 (%)
公共	282,719	6.1	1,678	3.0	245,363	5.5	86.8	1,604	2.9	95.6
外郭	522,187	11.2	2,714	4.9	469,266	10.5	89.9	2,574	4.7	94.8
民間	3,359,161	72.2	26,342	47.4	3,282,137	73.2	97.7	26,158	47.4	99.3
個人	488,915	10.5	24,865	44.7	485,861	10.8	99.4	24,809	45.0	99.8
合計	4,652,982	100.0	55,599	100.0	4,482,627	100.0	96.3	55,145	100.0	99.2

◇職群別契約実績

職群	平成19年度				平成20年度					
	契約金額 (千円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	契約金額 (千円)	構成比 (%)	対前年度 比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	対前年度 比 (%)
専門技術	123,701	2.7	746	1.3	84,354	1.9	68.2	670	1.2	89.8
技能	472,999	10.2	12,535	22.6	470,867	10.5	99.5	12,506	22.7	99.8
事務整理	214,935	4.6	2,673	4.8	196,178	4.4	91.3	2,378	4.3	88.9
施設管理	969,879	20.8	4,733	8.5	948,376	21.2	97.8	4,845	8.8	102.4
渉外	545,412	11.7	2,727	4.9	508,264	11.3	93.2	2,568	4.6	94.2
一般作業	2,067,839	44.5	24,067	43.3	2,021,946	45.1	97.8	24,035	43.6	99.9
サービス	258,217	5.5	8,118	14.6	252,642	5.6	97.8	8,143	14.8	100.3
合計	4,652,982	100.0	55,599	100.0	4,482,627	100.0	96.3	55,145	100.0	99.2

2 団塊の世代を含めた高年齢者への取組強化

(1) ワンストップサービス機能の充実(平成19年10月1日開設)

前年度に引き続き、団塊世代を含めた高年齢者に対して、就業機会の提供や多様な就業ニーズ等を的確に対応できる情報を一元化し提供するワンストップセンター(ワークサポート情報プラザよこはま 通称:はまサポ)の充実を図りました。

この「はまサポ」では、高齢年者の様々なニーズに対応した働き方・市民活動・起業などの横浜市内で実施されている豊富な情報を収集し、利用者の希望に合った事業や機関・団体の情報を紹介することにより、就業機会の拡大や社会参加の推進を図っております。当センターのホームページから各種情報を検索することもできます。

【平成20年度実績】

来場者: 141名(男性:91名 女性:50名)

サイトアクセス数: 27,682件(月平均2,307件)

(2) 一般労働者派遣事業への推進(平成19年4月参入)

請負・委任、無料職業紹介事業に加え、高年齢者の多様な働き方に対応した雇用・就業機会の確保として、高齢法の改正でシルバー人材センター事業の特例として認められた一般労働者派遣事業を展開し、新規受注の技術系・事務系分野の職種を中心に開拓するとともに適正就業等を図りました。(神奈川県シルバー人材センター連合会からの委任事務として実施)

【平成20年度実績】

契約件数: 18件(資料整理・経理補助・封入封緘・受付等)

契約実人員: 41人(男性:25人 女性:16人)

契約金額: 12,798,480円

3 年会費制度実施に向けての準備

(1) 登録会員への周知

会報誌4月発行の第81号においては、「年会費」制度の導入についての趣旨目的を掲載と9月発行の第82号発送時に「年会費制度について」のリーフレットを同封し、全会員へ周知を行うとともに、各事務所で開催される「会員交流会」、「職群班会議」等での説明を行い、会員への「年会費」制度の理解と協力を図りました。

(2) 会員への新たなサービスの向上

「年会費」制度の実施に向け、昨年12月に「年会費」制度実施後の会員へのサービス向上検討会を立ち上げ、本部・事務所の職員によるプロジェクト会議を6回にわたり開催し、未就業会員の支援等について具体的な検討を行った結果、今年度から、シルバーノートを廃止し、見やすく判りやすいA4版冊子に拡大した「会員の手引き」を作成し、全会員へ4月発行会報第83号に同封し配布しました。また、新たに会員登録を希望する高年齢者に対して、「会員登録説明会用リニューアルDVD」の上映による本部・事務所で開催する希望日・会場に応じた「会員登録説明会」の参加や「就業相談コーナー」の常設、ホームページリニューアルによる情報提供（お仕事情報等）の充実、会報誌発行回数増（年2回から3回発行）を行い、会員の増強、就業促進等を図っていくこととしました。

4 受注開拓活動の推進

(1) 役職員による受注活動

平成20年度は、公共・外郭団体受注については、地方自治法施行令改正に伴う特命随意契約による受注開拓を効果的に行うとともに、事業推進員（就業機会創出員）活動と連携を図りながら、センター役職員による事業所等への訪問受注活動を実施し、受注確保及び会員の就業機会の拡大を図りましたが、昨年度に引き続き、横浜市の入札制度への移行や指定管理者制度の実施、民間においても、長引く景気低迷等の影響が顕著に現れ、受注件数、契約金額が、当センター発足以来、前年度対比実績が過去最大の減少となってしまいました。

なお、個人家庭では、福祉・家事援助サービス業務における会員への就業促進とともに、各事務所に配置したコーディネーターの積極的な活動等により、前年度対比が若干の減少にとどまりました。

(2) 事業推進員活動

受注拡大や会員増強を目的としている事業推進員活動は、20年度も引き続き、国の補助事業を活用して就業機会創出員を配置し、昨年度と同様に、上半期は会員募集を中心に活動を行い、会員増強を図りました。下半期については、景気低迷等の影響による発注者からの就業休止等移行対策として、主に受注開拓活動を行いました。

この結果、就業機会創出員活動による受注件数（2.7%の増）、受注金額（12.5%の増）、就業延人員（14.8%の増）について、昨年度実績を上回ることができました。

また、配置数は全事務所で7人として、効率的運営に努めました。

◇就業機会創出員活動の実績

年 度	訪問件数	受注件数	受注金額	就業延実人員	就業延人員
平成19年度	211,470件	2,300件	131,007,313円	4,077人	25,363人日
平成20年度	159,897件	2,364件	147,379,082円	4,007人	29,124人日

※ 訪問件数はチラシ配布を含む

(3) 新たな就業システムの検討

国の高齢者就業機会確保事業等の補助金に係る事業方式の「企画提案方式」等の新たな高齢者の就業システム導入に向けて、調査検討した結果、横浜市中期計画「横浜リバイバルプランⅡ・重点施策：こども未来戦略」に基づき、平成 21 年度から「地域子育て支援事業」を実施することとしました。この事業によって、子育てコーディネーターを配置し、発注者と会員とのニーズ相談等を行い、個人家庭での子育て支援を推進していきます。

(4) 顧客満足度調査の実施

隔年で実施している顧客満足度調査を家庭と事業所（一般労働者派遣事業PR含）に分けて行いました。18年度(前回)との増減結果を踏まえ、訪問活動等を通して顧客満足度の向上に努めていきます。

－ 調査概要と主な調査結果 －

	家庭	事業所
調査時期	平成 20 年 8 月 1 日～8 月 31 日	平成 20 年 10 月 1 日～12 月 26 日
調査方法	請求書に調査用はがき同封	就業機会創出員訪問活動聴取と郵送
回収数	761件	673件
回収率	36.2%	57.3%
主な調査結果 ()内は前回(18年度)との増減	(1) 仕事の出来ばえ 満足+おおむね満足:86.2%(-3.1) (2) 会員の言葉づかいや態度 満足+おおむね満足:84.8% (-1.5) (3) 事務所・職員の対応 満足+おおむね満足:75.8%(-0.1)	(1) 仕事の出来ばえ 満足+おおむね満足:81.4%(-0.4) (2) 会員の言葉づかいや態度 満足+おおむね満足:76.4%(+1.8) (3) 事務所・職員の対応 満足+おおむね満足:73.1%(+4.4)

(5) 会員によるPR活動

会員が自主的に、会員の不足する職種や地域など事務所ごとに特徴を持ったPRチラシの配布を実施し、センターの普及啓発に役立てました。

また、多くの会員がセンター事業の参画を推進するために、区民まつり等地域イベントに参加し、チラシの配布等を行いました。

(6) 独自事業の実施

独自事業は、会員がもつ専門的技術や技能を講師として役立て、併せて広く市民に還元していくことを目的に実施しています。20年度についても、引き続き需要の多いIT講習の増設・応用コースの開設を行うとともに、会員の自主的な活動強化を図りました。

また、例年好評の「親子ふれあい教室」は、人気の高い「そば打ち」と「パンづくり」、新たにパソコン（Tシャツプリント）も開催しました。

◇独自事業の実施状況（講師及び運営委員：実人員40人）

	教室名	年間開催数(回)	延参加人員(人)	会場
①	実践書道	72	1,728	緑事務所
②	絵手紙	12	240	緑事務所
③	中高年英語教室	558	6,879	戸塚事務所
④	パンづくり (初級)	30	630	ワークプラザ調理室
	〃 (中級)	30	518	
⑤	写真の撮り方 (初級)	11	182	ワークプラザ作業室 他
	〃 (中級)	11	201	
⑥	そば打ち (初級)	20	200	ワークプラザ作業室 他
	〃 (中級)	8	148	
⑦	IT講習	164	2,506	ワークプラザ研修室

⑧	オカリナ教室	30	440	ワークプラザ研修室
⑨	夏休み・春休み親子ふれあい教室			ワークプラザ 作業室・調理室
	そば打ち	1	30	
	パンづくり	2	54	
	パソコン（Tシャツプリント）	1	9	
合 計		950	13,765	

(7) IT社会に対応する受注活動

ホームページのリニューアルを行い、はまサポページの充実、掲載情報の随時更新、電子メールによる受注対応等を通して、センターの事業PR、受注拡大等を図りました。

また、(社)全国シルバー人材センター事業協会のインターネットによる仕事受注システム「シルバーしごとネット」により、20年度34件の受注がありました。仕事内容としては、結婚式招待状毛筆宛名書き、植木の手入れ、襖の張替え、除草、産業機械の清掃等です。

5 会員増強等の就業体制の強化

(1) 会員の増強

会員による口コミ、ホームページや広報よこはま区版の会員募集記事掲載、技能講習会の開催等を通じての会員募集啓発とともに、団塊の世代や会員が不足している地域・職種を中心とした会員募集の実施、女性の入会促進など、重点項目に沿った会員の増強に努めました。

年度末の登録会員は、平成21年度「年会費」制度導入の会員への実施概要説明結果等より、退会者がでたため、12,068人となりました。また、女性会員の割合は、全体の31%と前年度対比0.2ポイントの減少となりました。

(2) 技能講習会の充実

SP講習会の見直し等により、一般市民向け（雇用促進）講習会と位置づけがされ、会員向け講習会として開催できなくなったことにより、講習会の実施内容等整備を図り、スキルアップにつながる講習として、需要の多い緑地管理、DIY講習会を開催しました。

また、トラブル防止としての就業時マナー習得の接遇等の講習会を外部の専門講師により開催し、会員就業時のマナーとサービス向上を図りました。多くの会員の参加を得るために、会場は本部と神奈川事務所、緑事務所で開催した結果、5日間で288人が受講しました。

◇技能講習会の実施状況

	講習名	実施期間	日数	参加人数(人)	会 場
技 能	緑地管理	5/23～6/6	11	14	北部第一水再生センター
	DIY	10/23・24	2	26	〃
サ ー ビ ス	家庭内清掃	10/17	1	21	ワークプラザ作業室
	調理(一般)	6/27～7/18	4	20	ワークプラザ調理室
接 遇	接遇研修(A)	11/4	1	82	ウイリング横浜 研修室
	接遇研修(B)	11/6	1	72	〃
	接遇研修(C)	11/7	1	46	〃
	接遇研修(D)	11/10	1	54	老人福祉センターうらしま荘
	接遇研修(E)	11/21	1	34	中山地区センター
合 計			23	369	

(3) 適正就業の推進

発注者の理解のもと、ローテーション就業の推進やひとりでも多くの会員に就業機会（ワークシェアリング等）を提供することで、適正就業の推進を図りました。

(4) 地域班・職群班活動

「基本計画 2016」の中で、事務所機能の拡充として、基本目標に地域班・職群班の整備活用を掲げており、会員の事業運営への参加促進となる地域班、職群班及び班活動の役割の強化を図っていくことが課題になっております。

引き続き、地域班・職群班活動の充実を図るとともに、実態に見合った魅力ある「地域班・職群班」の構築に向けた検討を行ってまいります。

6 福祉・家事援助サービス業務の推進

(1) 福祉・家事援助サービスコーディネーターの活動

前年度に引き続き、20年度も福祉・家事援助サービスの需要の拡大と供給体制の整備を図るため、単独事業として、コーディネーターを各事務所に2人の計12人配置しました。

発注者のニーズに応えるため会員の就業促進を行い、きめ細かな調整を図るとともに、相談対応や事務所単位の懇談会の開催等、就業会員の活動支援に努めた結果、前年度に比べ、契約金額等は若干の減少にとどまりました。

◇福祉・家事援助サービスの実績

区分		受注件数 (件)	契約金額 (千円)	就業延日人員 (人日)	主な受注例
福祉	平成19年度	594	117,889	21,585	軽易な介護、付き添い、送迎等
	平成20年度	675	116,271	21,345	
家事	平成19年度	7,454	130,455	41,083	家庭内清掃、炊事、洗濯、子育て支援等
	平成20年度	7,397	125,495	40,360	
平成19年度合計		8,048	248,344	62,668	
平成20年度合計		8,072	241,766	61,705	
対前年度比		100.3%	97.4%	98.5%	

(2) 各種講習会の実施

サービス向上と多様なニーズに対応するため、高齢者の一人暮らし等を対象とする家庭内清掃、調理などの講習会(6ページ参照)を開催しました。さらに、コーディネーターが中心となり、事務所単位の懇談会を開催し、就業情報の共有や就業体制の強化を図りました。

(3) 子育て支援（国の補助事業であるシニアワークプログラム）

保育園等の運営補助、共働き世帯等、子育て支援を必要とする団体や家庭に対し、地域社会の支援として、会員の豊かな経験を活かしたサービスの提供に努めました。

また、連合会主催の「子育てサポーター講習会」に参加協力をしました。

(4) 介護保険対象外業務の充実

介護保険制度の適用とならない高齢者世帯に対する家庭内清掃等の支援サービスや家事援助の受注開拓のため職員、就業機会創出員による区役所の福祉サービス課、地域ケアプラザ、民間福祉施設等の訪問やコーディネーターによるパンフレットの配布などを行いました。

7 安全管理対策の強化

(1) 安全管理委員会活動

安全就業の徹底は最優先されるべきという理念のもと、センター役職員・会員で構成する本部・支部安全管理委員会が中心となって、会員就業現場の巡回視察、事故防止に向けた啓発活動や講習の企画実施、事故分析と再発防止対策、安全グッズの制作・貸与等に取り組みました。

◇安全管理委員会活動状況

事務所	委員会	巡回視察	安全講習会等の実施内容
本部	2回	295回	○交通安全（交通安全教育、原動機付自転車安全運転及び運転適性検査）○緑地管理（用具、薬剤の取扱い）
支部	71回		

(2) 安全講習会の開催

植木講習会において、安全保護具の装着、梯子等用具の安全な使い方等について、周知徹底を図りました。また、交通災害防止を目的に、原動機付自転車（50cc）の安全運転、自動車の運転適性検査、神奈川県警による事務所単位の交通安全講習等を開催しました。

(3) 安全就業に向けた取組強化

前年度に引き続き、事務所単位の植木剪定班会議を開催し、作業時のヘルメットや安全ベルトの装着、梯子の扱い方等の遵守徹底を呼びかけました。

また、安全啓発チラシの配布、会報誌への啓発記事掲載、職群別会員懇談会等で事故発生状況報告等を行い、事故防止に向けた安全啓発を行いました。また昨年度に引き続き、就業先への巡回視察及び事故発生会員による事故報告書の提出の義務化等を実施し、事故発生件数の減少に努めました。

なお、20年度開催した会員による技能職安全管理啓発プロジェクト会議及び20年11月に発生した植木剪定時における重篤事故を踏まえ、植木剪定会員対象の「作業安全研修会」及び植木剪定・刈払機による除草会員対象の「機械操作安全研修会」受講の義務化を来年度から実施することとし、安全管理強化を図っていきます。

(4) 事故発生状況

20年度は、安全対策に向け就業先への巡回視察・事故発生会員による事故報告書の提出の義務化等の各種取り組みを積極的に行った結果、事故発生件数は、前年度に比べ傷害事故は17件の減少、賠償責任事故は同件数で、合計17件の減少となり、傷害と賠償を合わせた合計は64件となりました。

◇事故発生状況（件）／過去4年間

項目	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
会員傷害事故	41	49	52	35
賠償責任事故	26	25	29	29
合計	67	74	81	64

(5) シルバー保険への加入

会員の就業時や就業現場途上時における万一の事故に備え、昨年度に引き続き傷害・賠償責任事故を補償するシルバー人材センター総合保険に加入しました。

8 財政基盤の強化と業務執行体制の見直し

(1) 基本計画 2016 の執行管理

20 年度は、横浜市との「協約」を含めた「基本計画 2016」の 2 年目を迎え、各種目標課題等の進行管理を行いました。

(2) 独自財源の確保と年会費制度の実施に向けての推進

センターの自主・自立的な経営基盤の確立のため、「年会費」制度の実施に向けた取り組みとして、4 月発行の会報第 81 号に「年会費」制度の導入についての趣旨目的を掲載するとともに、9 月発行の会報第 82 号と同封した「年会費制度について」のリーフレットを全会員へ送付し周知を行いました。また、各事務所で開催される「会員交流会」等で説明を行い、会員への理解と協力を得ることができました。

また、「年会費」制度実施後の会員へのサービスの向上検討会を立ち上げ、本部・事務所の職員によるプロジェクト会議を開催し、会員の支援等について具体的な検討を行い、会員増強、就業促進等を図っていくこととしました。

(3) 請求センター業務の推進

事務所の本来業務である受注活動や会員への就業提供等を促進することを目的に、請求事務を

本部に移管し請求センターで一括集中処理を行いました。(主に短期分・一部継続分の処理)

9 個人情報の保護並びに法令遵守

顧客先における就業時の情報保護・管理等について、会報への記事掲載や個人情報保護に関するチラシ送付等によって会員に徹底するとともに、登録希望者や会員自身の個人情報保護の強化を行いました。

また、当センターが保有する情報管理や顧客先に提供する就業会員に関する情報についても、適正な保護及び管理の徹底をするとともに、適正就業の推進確保など就業に関連する法令等について、職員及び会員へ遵守の徹底を図りました。

なお、センターのホームページ等を通じて、経営の健全性確保、透明性の推進として、積極的に経営情報の開示を図りました。

10 ボランティア活動支援

会員が主体的に行っているボランティア活動が、会員の社会参加や長年培った技術・技能を発表する場としてさらに発展するよう、側面から支援を行いました。

演芸、福祉、観光ガイド、街の美化の 4 つの分野で活動を実施し、福祉施設、公共的施設等を中心に、延べ 887 人が活動しました。

◇グループ別活動実績

グループ名		主な活動場所	参加延人数
演芸	楽器演奏	地域ケアプラザ、老人福祉施設、地区センター、病院等	320
	手品等	老人福祉施設、リハビリテーション施設等	38
福祉	介護補助	大豆戸・本牧原・万騎が原・東戸塚・港南中央・港南台各 地域ケアプラザ	274
	そば打ち	地域ケアプラザ等	13
観光ガイド		朝比奈切通し、東京ガス・昭和電工、青葉古墳群めぐり、 紅葉の小机城跡周辺散策、みなとみらいと横浜開港史跡、 富岡の史跡探訪、子安穴子の漁場と浦島伝説	46
街の美化		横浜駅東口周辺、みなとみらい 21 地区等	196
延参加会員数計			887

11 普及啓発活動の推進

厳しい財政状況の中、少ない経費で多くの効果が得られるよう、各種広報媒体の活用を図りPR活動を展開しました。また、団塊世代等の入会促進を図るため、ホームページのリニューアル、ワンストップセンターの充実を図りました。

(1) 広報媒体を活用したPR

広報よこはま区版、老人クラブ連合会会報誌に会員募集用広告を掲載し、普及啓発に努めました。さらに、ミニコミ誌を活用したPRも展開しました。

- ◇広報区版広告掲載区 鶴見・金沢・保土ヶ谷
- ◇老人クラブ連合会会報誌 「シニアだより横浜」125号
- ◇ミニコミ誌の活用 タウンニュース

(2) ポスターの掲出とリーフレット等の配布

センター事業の普及・啓発を目的に、市営バスや市営地下鉄の車内及び駅構内、市内公共施設等にPR用ポスターを掲出しました。

また、総合パンフレット及び会員募集用リーフレット・家庭向けリーフレットを時代に即した見やすく解り易い内容に刷新しました。就業機会創出員のPR活動等で活用するとともに、地域や職種に限定した会員募集用リーフレットやチラシの配布を行いました。

◇ポスターの掲出状況

掲出先	掲出期間	掲出部数
地下鉄駅	平成20年10月14日～10月20日	37枚
地下鉄車内	平成20年10月14日～10月20日	111枚
市バス車内	平成20年10月14日～10月20日	910枚
公共機関等	平成20年10月14日～	200枚

◇リーフレット作成部数

- ・受注開拓用家庭向けリーフレット 30,000部
- ・会員募集用リーフレット 50,000部

(3) インターネットの活用

ホームページを刷新し、センターのしくみ、はまサポの情報提供、会員登録や仕事発注の方法、技能講習や独自事業の開催状況、ボランティア活動の実施状況等を分かり易く紹介し、時代に即した広報活動に努めました。

(4) 区民まつり等地域イベントへの参加

各区で開催される区民まつり等に参加し、センター会員のもつ多彩な技術・技能の実演発表や手芸品バザー、PRグッズの配布等を通じて、受注開拓や会員募集等センター事業のPR活動に努めました。

【参加区】港北、西、中、保土ヶ谷、金沢、青葉、戸塚、栄（計8区）

【その他】「ハーモニーみどり」ふれあいまつり（緑区中山町）

「うらしま荘」うらしま祭（神奈川区立町）

「パシフィコ横浜」ライフデザインフェア

12 無料職業紹介事業の実施

臨時的・短期的及び軽易な業務に係わる雇用を希望する高年齢退職者のための無料職業紹介事業を実施しました。

◇平成20年度の実績

- ・紹介実績 30件（前年度13件）
- ・就職件数 6件（前年度11件）

13 会報誌の内容充実

会報「シルバーセンター」は、会員編集委員の主体的な企画、取材及び編集活動の成果物として、定期発行を行っていますが、20年度もセンター事業の進捗状況や会員の諸活動を紹介する情報誌として、全会員、発注者、区役所、地区センター等関係機関へ配布しました。

発行回数は2回とし、企業広告の有料広告掲載と併せて、印刷経費等の軽減を図りました。

◇会報の発行実績

内容 \ 号数	第81号	第82号
発行月	平成20年4月	平成20年9月
発行部数	18,000部	19,000部

14 会員の自主活動への支援

(1) 会員交流会、サークル活動への支援

◇事務所での開催状況

事務所 \ 内容	交流会開催数	サークル団体数
神奈川	10回	5団体
南	12回	4団体
保土ヶ谷	10回	5団体
磯子	12回	3団体
緑	10回	7団体
戸塚	11回	4団体
合計	65回	28団体

(2) 「創作展」等の開催

書道、絵画、写真、工芸等全事務所の同好会員で構成される「創作展」は、第25回の記念開催を迎え、約1,600人の来場者を得て盛会に開催されました。また、緑事務所では恒例のサークル会員による作品展を都筑区役所で開催しました。

◇創作展

会期	平成21年2月9日～ 2月14日
会場	横浜市民ギャラリー
出展会員数	113人
出展作品数	128点

◇緑事務所作品展

会期	平成21年3月2日～ 3月6日
会場	都筑区役所区民ホール
出展会員数	50人
出展作品数	100点

15 理事会及び評議員会の開催

平成20年度は、次のとおり理事会、評議員会を開催しました。

(1) 理事会

月日	場所	議案内容
平成20年度第1回 理事会 平成20年4月1日	書面表決	第1号議案 評議員の選任について
平成20年度第2回 理事会 平成20年5月28日	シルバー人材センター 本部研修室	第1号議案 寄附行為の一部改正について 第2号議案 平成19年度事業報告について 第3号議案 平成19年度決算について 第4号議案 平成20年度収支補正予算について

平成 20 年度第 3 回 理事会 平成 21 年 3 月 26 日	シルバー人材センター 本部研修室	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案	平成 20 年度収支補正予算について 平成 21 年度事業計画について 平成 21 年度収支予算について
--	---------------------	-------------------------------	--

(2) 評議員会

月 日	場 所	議 案 内 容
平成 20 年度第 1 回 評議員会 平成 20 年 5 月 26 日	シルバー人材センター 本部研修室	第 1 号議案 寄附行為の一部改正について 第 2 号議案 平成 19 年度事業報告について 第 3 号議案 平成 19 年度決算について 第 4 号議案 平成 20 年度収支補正予算について
平成 20 年度第 2 回 評議員会 平成 21 年 3 月 24 日	シルバー人材センター 本部研修室	第 1 号議案 平成 20 年度収支補正予算について 第 2 号議案 平成 21 年度事業計画について 第 3 号議案 平成 21 年度収支予算について 第 4 号議案 役員の選任について
平成 20 年度第 3 回 評議員会 平成 21 年 3 月 31 日	書面表決	第 1 号議案 理事の選任について

16 関係機関との連絡調整

センターの円滑な事業運営を図るため、横浜市等行政関係機関、(社)全国シルバー人材センター事業協会、(社)神奈川県シルバー人材センター連合会等との連携を深め、事業の円滑な運営に努めました。